

## 遠藤厚一氏文書概要

1:文書群番号	119104
2:文書群名	遠藤厚一氏文書
3:出所	遠藤三左衛門・仁右衛門家
4:家業・役職等	近世：尼崎藩の藩士、近習、弓組・鉄砲組頭、改革御用掛、大坂留守居など
5:地名	摂津国川辺郡尼崎宮町 / 兵庫県川辺郡尼崎町 / 内尼崎町 / 尼崎市西本町
6:行政区分	尼崎藩領 / 兵庫県第9区 / 別所組戸長役場 / 尼ヶ崎町 / 尼崎市
7:歴史	遠藤家の先祖は桜井松平家第9代忠俱が掛川又は飯山に在城した時代に仕官し、当主は三左衛門を襲名。明治24年没の仁右衛門直齒に至るまで同家に仕えた。家禄は100石から300石。近世後期の直好・直道・直齒の三代とも若年時は近習を勤め、武技に通じ読書を能くしたと伝える。とくに葎水と号した直好は博覧多識と評され、『葎水謾録』『葎水見聞集』を著している。遠藤家は厚一氏の祖父の代まで尼崎市の本籍地（別所村長町、現西本町3）在住、父の代に東京へ移ったとのこと。
8:伝来	令和3年1月遠藤厚一氏より寄贈。
9:史料入手先	遠藤厚一氏
10:点数	8
11:年代	文政2～明治3
12:構造と内容	遠藤三左衛門直道が藩主の参勤交代に供をした際の手控えや大坂留守居在役中の記録など藩士としての職務に関する文書や直道時代の漢詩・狂歌などを含む。養父・直好および直道ともに武技に通じた故か、甲冑着用の際の手順・行動の心得書も伝来する。尼崎藩最後の藩主・桜井忠興の大名正装姿の写真あり。
13:関連史料	深正院墓地内遠藤直好墓碑銘、『葎水謾録』（歴史博物館所蔵「市立図書館旧蔵文書」）
14:閲覧条件	原本及びデジタル画像
15:作成者	中村光夫